

Formula NIPPON NEWS 2010. 11. 29

全日本選手権 フォーミュラ・ニッポン

第三回公式合同テスト [富士スピードウェイ]

第三回公式合同テスト・初日

塚越 広大(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)がトップタイム

鈴鹿で行なわれた劇的な最終戦から3週間。11月29日(月)~30日(火)、初冬の富士スピードウェイでフォーミュラ・ニッポン第3回公式合同テストが行なわれた。このテストに参加したのは、10チーム・13台のマシン。ドライバーとしては、No.19 J.P・デ・オリベイラ (Mobil 1 TEAM IMPUL)、No.20 平手 晃平 (Mobil 1 TEAM IMPUL)、No.2 伊沢 拓也 (DOCOMO TEAM DANDELION RACING) ら、今シーズンのレギュラーメンバーに加え、ルーキーや海外から帰国中の選手なども参加。また、今季とは違うチームでドライブした選手もいた。今回は、各マシンともに最大6セットのニュータイヤを使用できることになっているが、その内訳はソフト4セット、今季使用したミディアム1セット、新しいスペックのミディアム1セット。また、KYB がマッピングを変更したパワーステアリングを各チームに供給しており、そのテストも2日間のテストを通じて、全チームが行うことになっている。タイヤに関しては、各チームによって使用セット数はまちまちだが、ニュースペックのミディアムに関しては、全チームが今回のテスト中に使用することになっており、そのデータが来季用スペック決定のための参考にされるということだ。

その初日のセッションで総合トップタイムをマークしたのは、DOCOMO TEAM DANDELION RACING の1号車をドライブした塚越 広大。2番手には16号車、MOTUL TEAM 無限のマシンをドライブした山本 尚貴。3番手には、PETRONAS TEAM TOM'S の37号車をドライブした中嶋 一貴という結果になった。今季チャンピオンを獲得したオリベイラは、午後のセッション、ニュータイヤでのアタック中にスピンして、総合8番手に留まっている。

このテスト初日のセッションは、午前11時から11時55分と、午後2時から3時55分の計2時間50分。セッションは赤旗など提示されることなく、順調に消化された。最初の走行が開始された段階では、気温が10℃、路面温度が14℃。コースがオープンされると、どのマシンも、前回のJAFグランプリから持ち越しているソフトのユーズドタイヤでスタートしている。No.7 中山 雄一 (Team LeMans) やNo.8 国本 雄資 (Team LeMans)、No.10 小林 崇志 (HFDP RACING)、No.18 アレキサンドレ・インペラトリー (KCMG)、No.31 中嶋 大祐 (NAKAJIMA RACING) らのルーキー勢は、まずマシンに慣れるところから。その他、No.1 塚越 広大 (DOCOMO TEAM DANDELION RACING)、No.16 山本 尚貴 (MOTUL TEAM 無限) からも、今年のレギュラードライバーが乗っていたセットアップから走り始め、少しずつ自分の好みに合わせていくという形でテストを進めている。ただし、この午前中のセッションは1時間足らずと短かったため、ニュータイヤを装着したのは、No.3 松田 次生 (KONDO RACING)、中山、国本 雄資、オリベイラの4人のみ。この中で、オリベイラだけは、今年通年使用されてきたミディアムタイヤ、その他の3人はソフトを使用している。

午後のセッションが開始された午後2時の段階では、気温は12℃、路面温度は18℃まで上昇。ここから夕方に向けて、路面温度が下がっていくというコンディションとなった。Team LeMans は、午後7号車のドライバーを変更。中山に代わり、蒲生 尚弥がステアリングを握る。このローテーションは、明日も変わらないということで、2日目も午前中は中山、午後は蒲生が走るというメニューが組まれている。一方、他の陣営は、午後から本格的なテストに突入。足回りのセットアップや空力のテストなどもやっていたが、午前中にニュータイヤを使用していないドライバーが多かったため、セッション前半からニュータイヤを投入するドライバーもちらほら。ここでソフトタイヤを使用して、初日のトップタイムとなる1分23秒832をマークしたのは塚越だった。一方、セッションの残り時間が約15分となった時点で、同じくソフトタイヤを投入して、2番手にポジションアップしたのは、山本。この直後に、中嶋 一貴もタイムアタック。やはりソフトタイヤで1分24秒172をマークし、3番手に滑り込んできた。以下、伊沢、平手、国本 雄資、No.29 立川祐路 (DELIZIEFOLLIE/CERUMO・INGING) と続き、オーバーステアに苦しんだ末、アタック中にプリウスコーナーでスピンを喫したオリベイラは、8番手に留まった。

Formula NIPPON NEWS 2010. 11. 29

全日本選手権 フォーミュラ・ニッポン

第三回公式合同テスト [富士スピードウェイ]

トップ3 ドライバーコメント

総合1位：塚越 広大 (DOCOMO TEAM DANDELION RACING)

初めてですよ、トップタイム(笑)。ありましたっけ？ 憶えていないです、あったのかも知れませんが…。今回のテストで、DOCOMO TEAM DANDELION RACING で走ると聞いて、自分としてはすごく嬉しいことでした。ずっとリアルさん (HFDP RACING) にお世話になっていて、そこ以外のチームで乗ったことがなかったですし、自分がどういうドライビングをして、どういう状況なのかっていうのが、1台だったということもあって、正直分からない部分もあったりかしたんですよ。それに、今回はロイック (・デュバル) が乗っていたクルマに、そのまま乗せてもらえることになったので、比較としても自分にとっても色々なトライというか、テストができるということで、楽しみだったんですね。クルマは最初から良かったですし、自分のドライビングも少し変えながら走ったりしていました。ニュータイヤを入れた時にも、完璧ではなかったんですけど、いいタイムを出すことができて。その後、ユーズドで走っていても、23秒台に入ったりもしていましたし、1日目としてはいいテストができたかな、と。基本は僕がクルマに慣れていくということしかしていないので、テストとしてはちょこっと剛性を変えたりぐらいしかしていないんですけど。基本、ロイックのクルマのままですね。それが自分にとって合っているというか、乗りやすいというか、違和感なく乗れたかなと思います。最初のテストとしては、トップタイムは良かったと思いますが、僕としてはもっと速く走るためにどうしたらいいか、モアの部分をやっていかなければいけないので、チームと相談しながら、明日は色々やっていきたいですね。

総合2位：山本 尚貴 (MOTUL TEAM 無限)

最初の走り始めは、バランスが余り僕好みじゃなかったんで、それを好みに合わせてもらったら、午後はだいぶ良くなりましたし、クルマのポテンシャルとしては、いいものがあるのかなと思いました。今日は、JAF グランプリの時に井出さんが走っていたセットで走り始めました。それで、もちろんいい所もあったんですけど、悪い所を「こうじゃないかな」とコメントしたら、それがいい方向に行ってくれて、ニュータイヤを履いた時にもタイムが上がったので、ホッとしました。自分が言ったことで、クルマが進化してくれた部分があったので、それは良かったなと。チームのメンバーも、いつもGTでお世話になっているスタッフの方なので、そういう意味では何も気兼ねすることなく受け入れたと思います。それに、M-TECの仕事のやり方も、GTで分かっているんで。だから、今日はすごく充実した1日だったと思います。今回、ここに来るまでにも、チームが色々タマを用意してきて下さって、そのタマを今回使ったらそれも良かったんですよ。そこにはチームの皆さんの頑張りもありますし、それを僕がちょっとお手伝いさせていただいてタイムが出て、2番で終わったのは良かったです。午前中は全体的にグリップが低くて、正直結構頑張らないと、ヤバいっていう感じだったんですけど。でも、午後走り始めて、そこから走れば走るほど、セットを変えていったら良くなったので、自分としてもちょっとは安心できるかな、最低限のことはできたかなと思いました。そこには、今年NAKAJIMA RACING でいいクルマに乗せていただいて、勉強させていただいた感覚も役立っていると思います。

総合3位：中嶋 一貴 (PETRONAS TEAM TOMS)

午前中は身体を慣らす感じでしたが、午後はアンドレ (・ロッテラー) のセットを試したり、また戻したり。あとは、僕の練習もありましたが、タイヤのコンパウンド違いがあったので、それをテストしました。今日、全種類試しましたね。最後、ソフトを履いた時は、そこそこまとめられましたね。トップとはまだ差がありますが、徐々に詰めて行けると思いますし、クルマももう少し何かできるところもあると思います。こんなにマジメに走ったのは、1年以上ぶりでしたが、身体も大丈夫ですし、とりあえず安心しました(笑)。クルマのセットアップに関しては、アンドレのセットと大嶋のセットではかなりバランスが違うんですね。で、僕の運転はどちらかというと大嶋にかなり近い部分があって、アンドレのセットはかなり難しい。リヤがかなりナーバスで。そのセットを本当にやろうと思うと、自分の運転をイチからちょっと変えないといけないぐらいでした。そのセットで一度ニュータイヤも入れたんですけど、ニューでこのタイムだとヤバいっていうぐらいでしたね。でも、戻したら普通にタイムも出ましたし、そこそこ行けたので。これからはもっともっと攻めて行こうと思う

Formula NIPPON NEWS 2010. 11. 29

全日本選手権 フォーミュラ・ニッポン

第三回公式合同テスト [富士スピードウェイ]

と、ちょっとずつそっちの方向に行かないといけない部分もあるかも知れませんが、それはこれから考えることかなと。ウォーマーがないニュータイヤに関しては僕も初心者なので(笑)、ベストを出すのに2周かかりましたね。最後のソフトタイヤの時はちょっとミスった部分もありますし、ニュータイヤの一发のグリップがどれぐらいか、予想し切れない部分があるので、走りながら積み上げていったら、結果ああい風になったんですけど。上手く計測2周目でぽんと出せるようになったら、自然とタイムも上がるのかなという気がしますね。今日、そこそこ走れたので、安心した部分もありますし、クルマに乗れるだけでありがたいことだなと実感しています。弟には負けたかないですし、負けなくて良かったなど(笑)。誰がいたって、自分が一番にいることがベストですけど。ただ、アンドレのセットを試している時に、多分向こうの方が同じニュータイヤで前にいたので、“ヤバいな”と思いましたけど(笑)、セットを戻したらこういう結果だったので、まあ良かったです。

Formula NIPPON NEWS 2010. 11. 29

全日本選手権 フォーミュラ・ニッポン

第三回公式合同テスト [富士スピードウェイ]

第三回公式合同テスト 初日 総合結果

富士スピードウェイ (レーシングコース 全長 4,563km)

■天候：晴れ コース：ドライ

■気温/路面温度：午前開始時 10°C/14°C 午後 12°C/18°C (午後開始時)

■開始/終了時間：午前 11:00~12:00 午後 14:00 ~ 16:00

Po	No	Name	Team	Best Time	Lap	Gap
1	1	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1'23.832	61	
2	16	山本 尚貴	MOTUL TEAM 無限	1'24.088	67	0.256
3	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	1'24.172	63	0.340
4	2	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1'24.193	57	0.361
5	20	平手 晃平	Mobil 1 TEAM IMPUL	1'24.472	63	0.640
6	8	国本 雄資	Team LeMans	1'24.481	70	0.649
7	29	立川 祐路	DELIZIEFOLLIE/CERMO・INGING	1'24.745	64	0.913
8	19	J.P・デ・オリベイラ	Mobil 1 TEAM IMPUL	1'24.813	62	0.981
9	10	小林 崇志	HFDP RACING	1'25.040	56	1.208
10	7	蒲生 尚弥	Team LeMans	1'25.109	67	1.277
11	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	1'25.122	66	1.290
12	3	松田 次生	KONDO RACING	1'25.256	54	1.424
13	18'	A・インペトリー	KCMG	1'25.552	46	1.720

【この件に関するお問い合わせ】

株式会社日本レースプロモーション

広報担当 石原

media@f-nippon.co.jp